

# 環境教育プログラム導入事例集

株式会社 こども保育環境研究所様



畠山 和人氏 (株)こども保育環境研究所  
代表取締役社長

環境問題の本質を考え、学び体験する事が出来る場所だと確信しています。

## 実績

一般募集型「自然環境教育研修」を2006年から毎年開催

2006年8月	10名	倉本聰作・演出「地球、光りなさい！」観劇
2007年6,7月	35名	倉本聰作・演出「ニングル」観劇
2008年7月	7名	〃
2009年6,7月	26名	倉本聰作・演出「帰国」観劇
2010年7月	14名	〃
2011年6月	32名	〃
2013年1月	5名	環境問題講義受講 倉本聰作・演出「明日、悲別で」観劇

## 背景

Q. 保育界における環境教育の必要性とは？

株式会社こども保育環境研究所は、全国の保育園や幼稚園を対象に人材育成支援から運営全般や経営相談まで総合的な園経営コンサルティングを行っています。

保育界では園の社会的な役割の広がり、幅広い知識と経験を持った人材が求められるようになってきました。保育や教育の専門性を追及するばかりではなく、グローバルな視点が必要になってきており、特に地球環境教育を保育現場や子ども達にどのように伝えていけば良いのかを考え始める先生方が増えてきました。

## 経緯

Q. 研修会開催に至った経緯を教えてください。

子どもへの地球環境教育ばかりではなく、先生方にもその教育が必要であると考え始めた時に、私自身がプログラムを体験し、問題の本質を考え、学び体験する事が出来る場所が「富良野自然塾」であると確信しました。その後、毎年先生方を富良野にお連れし、環境教育と植樹の体験をしていただいています。

## 工夫

Q. 開催に際して工夫した点があれば教えてください。

出来るだけ多くの先生方に富良野まで足を運んでいただきたい。時間を有効に使い、出来るだけ効果的なプログラムを提供したい。美しい富良野の自然も充分に見て感じていただきたいという思いから、富良野自然塾の体験だけではなく、必ず観劇を含め倉本先生のメッセージを感動をもって受け取っていただいています。また、毎回「なかふらの保育園」の施設見学も取り入れています。

また、冬場も研修会を開催し、夏と冬、極端に違う自然を体験していただくのも楽しみの一つになっています。

## 効果

Q. 先生方にとってどのような効果がありますか？

大切なメッセージを色々な角度から伝えて学んでいただくためには、「富良野自然塾」における環境教育プログラム体験、そして「観劇」による感動が必要であると思っています。この両面から地球環境教育が必要とされる「本質」を先生方に理解していただく事で最大の効果を生み出すことができます。

残念ながら今まで保育界で行われてきた環境教育は、その本質を学ぶことなく大変表面的であったような気がします。そのような本質を先生方が学ぶことがないままに子ども達に話をしても説得力がありません。「子育て支援の本質は？」「地球環境教育の本質は？」その答えは「子ども達の将来の幸せを担保することに責任を持つ事を学ぶ」という事であると思っています。

## 展開

Q. 今後の展開や要望などをお聞かせください。

環境教育は一過性のブームで終わらせてはいけません。毎年地道に続けていく事が大切であると思っていますので、これからも保育園や幼稚園の先生方へ向けたプログラムは継続していきます。これからの地球を大切にしてくれる子ども達の育成を、全国の先生方の協力をいただきながら継続してまいります。